



創業50周年
感謝と友に



「経済産業省認定GNT企業」

フロイント産業株式会社

個人投資家様向け会社説明会資料



(証券コード 6312)

2015年2月期
第3四半期

目次

- I. **会社概要** P2
- II. **第6次中期経営計画について** P9
- III. **2015年2月期業績予想及び株主還元** P22

- <参考資料>** P28

Ⅰ. 会社概要



〈企業理念〉

創造力で
未来を拓く

1. 独創性豊かな製品の創造
2. 先見力で新しい市場ニーズの創造
3. 組織を活性化する経営基盤の創造
4. 困難に立ち向かうチャレンジ精神の創造
5. 潤いのある人間関係の創造

「FREUND」の由来

フロントはドイツ語で“友達”を意味します。当社の創業者(現 代表取締役会長)が創業の構想を友人と考えていたとき、社名の話になり、二人はFreund (友達) だからと、フロントと名付けることとなりました。また、その時の“ペン”(コーティング装置)と“インク”(コーティング剤)の構想(ビジネスモデル)は、今日のハード(機械・装置)&ソフト(医薬品添加剤など)両者を扱う形で、当社の事業モデルへと発展しております。
なお、当社のロゴは創業時に、“友”という文字のくずし字をデザイン化したものです。

ビジネスモデルの特徴はペンとインク

機械部門

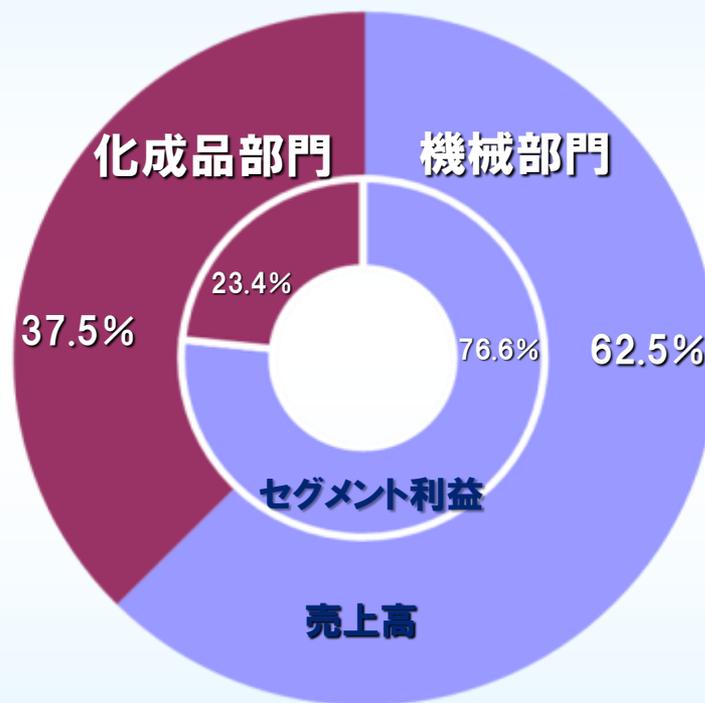
- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに造粒、コーティング装置などを製造・販売。
- コーティング装置の国内販売シェアはトップ。アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速。世界で製剤技術と機械装置を唯一共有する。
- 造粒・コーティング技術に粉碎・分級技術を融合させることで産業向け装置の拡販も注力。

化成品部門

- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売。
- 医薬品添加剤は、GMP(*)対応設備で生産。
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ。
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化。

(*)GMP: Good manufacturing Process

セグメント別 売上高及び利益構成



(2014/2期)

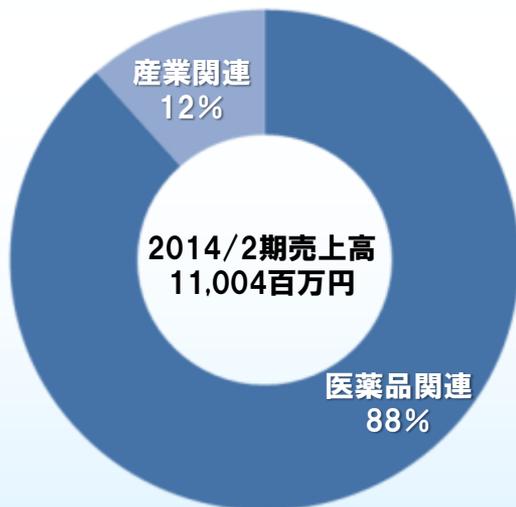
連結売上高 176.1億円

連結営業利益 12.8億円

医薬品会社向け造粒・コーティング装置が主力

- 機械部門は、医薬品向け業界が88%、産業機械向けが12%。
- 医薬品会社向けの造粒装置やコーティング装置が主力で米国に子会社のFREUND-VECTOR社を持つ。
- 産機向けも注力中。

向け先別売上構成 (2014/2期)



コーティング装置
(HICOATER Model FZ)



分級装置

(ターボスクリーナー)



造粒装置
(FLOWCOATER)



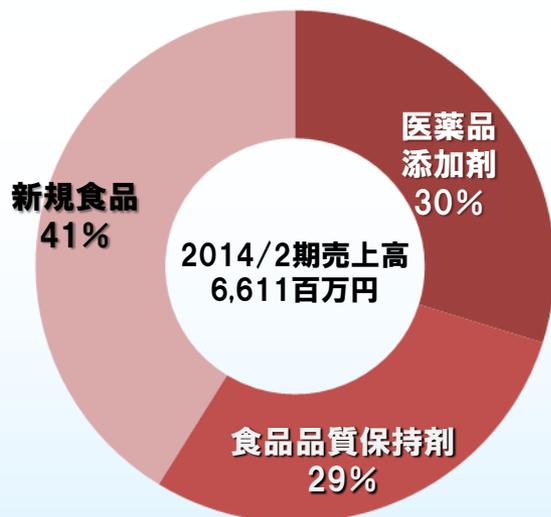
シームレスミニカプセル装置
(スフェレックス)



医薬品添加剤、食品品質保持剤、健康食品受託が約1/3

- 医薬品添加剤は、ジェネリックメーカー向け拡販継続
- 食品品質保持剤は品揃え強化、栄養補助食品の受託製造好調

化成品事業の売上構成



医薬品添加剤

- ・直打用マンニトール・乳糖
- ・球形顆粒
- ・吸着剤・固形化剤・流動化剤
- ・白色着色剤
- ・滑沢剤
- ・光沢剤
- ・賦形剤
- ・免疫増強剤(モンタナイド)



食品品質保持剤

- ・食品添加剤
- ・食品品質保持剤



栄養補助食品・他

- ・シームレスミニカプセル
- ・AQshelax(水性シェラック液)
- ・サプリメント
- ・コエンザイムQ10(40%水分散型粉末)



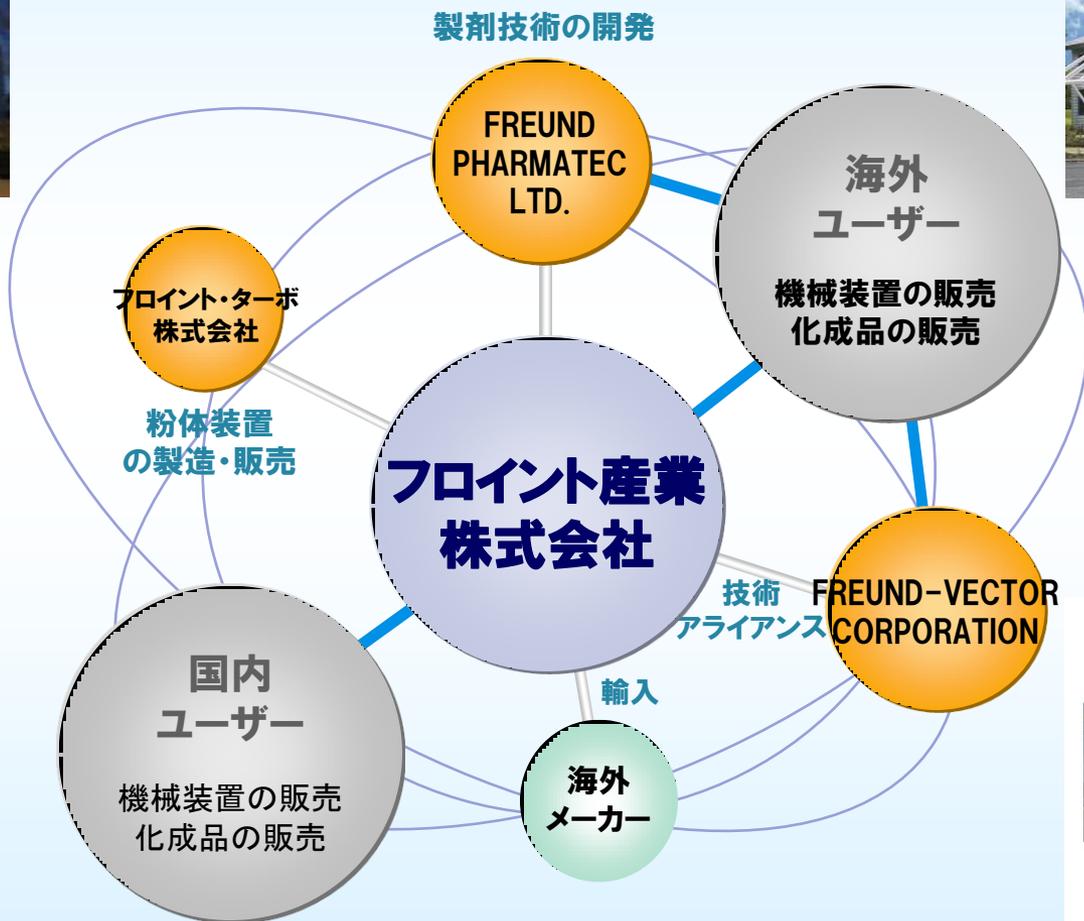
当社グループ

技術開発研究所



独自の技術でのグローバル化を積極的に推進

FREUND PHARMATEC社



フロイント・ターボ社



FREUND-VECTOR社



技術開発研究所の独創的な開発が収益の源泉

独創性豊かな提案

- 研究開発型企业として、医薬品、食品業界などのニーズにこたえる製品開発に注力しています。
- 機械工学、薬学、電子工学、応用化学、生化学などのエキスパートたちが、産業界で最先端を行く独創的な製品を、数多く市場に送り出しています。
- 5名の博士号取得者、12名の薬剤師が在籍しています。

確かな技術

- 技術開発研究所は、すべての機械、化成品のシステムソリューションをそろえており、**ユーザーのアプリケーションテストに対応**しております。
- ユーザーとの技術交流、共同研究の場である技術開発研究所において、私たちは常に最先端の技術開発を模索しております。

独創的技術は世界へ

- 独創的な技術と製品をベースに、国内・国外で出願数を含め、**300件以上の知的財産権を保有**。企業特許力指数YK値は、JQ約1,000社中40位(*)です。
- 特許戦略は、今日の業績に大きく寄与するとともに、「FREUND」ブランドとして国際的に高い評価を得ることに繋がっております。



(*):工藤一郎国際特許事務所算出(2011年)

II. 第6次中期経営計画について

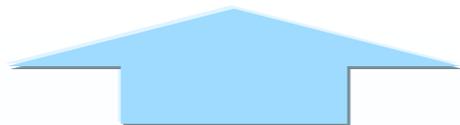
第6次中期経営計画(Change & Challenge 2014-2016)

Change & Challenge 2014-2016

「100年企業に向けた第二の創業へ」

「次なるステージに飛躍するための

創造的成長の実現 及び **筋肉質な企業体質への変貌**」



- 第1次(～02/2期) 友翔21計画
- 第2次(～05/2期) 活力溢れるグループ経営で競争優位に立つ
- 第3次(～08/2期) 国際化への果敢なチャレンジ
- 第4次(～11/2期) 事業別再編と戦略目標の設定
- 第5次(～14/2期) 規模拡大と継続的成長を実現するための体質改善

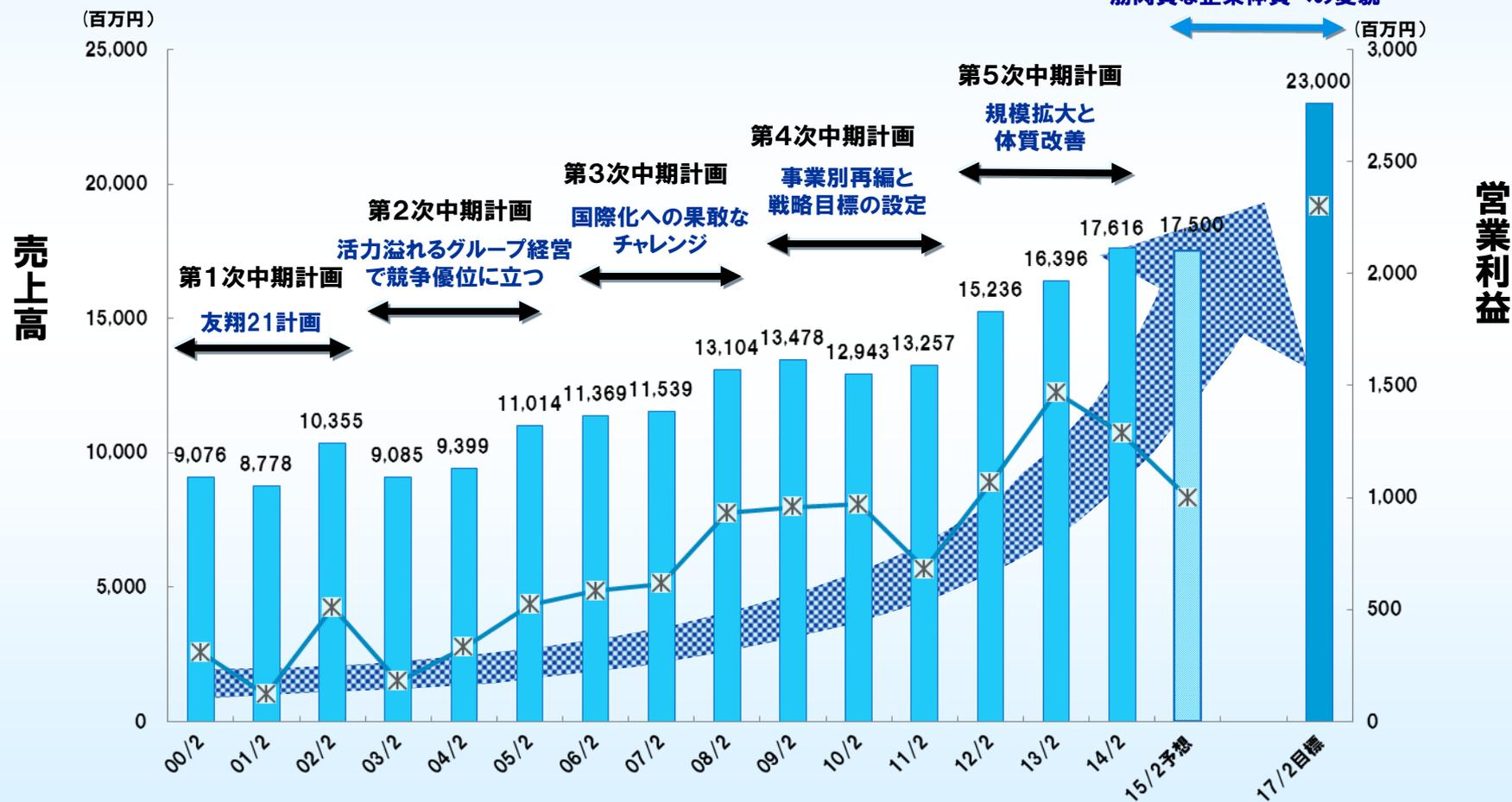
2017年2月期の収益目標

〈2017/2期目標〉
 ■ 売上高 230億円
 ■ 営業利益 23億円
 (為替前提：USD:100円、€:145円)

Change & Challenge
2014-2016

第6次中期計画

創造的成長の実現と
筋肉質な企業体質への変貌



事業環境想定・・・世界医薬品市場は途上国が急拡大

2017年の世界の医薬品市場は
2012年比20%超の増加へ

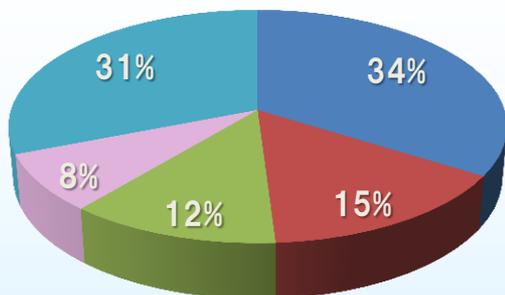
2012 ⇒ 2017
増加額

+23~26兆円

地域別医薬品市場予想

2012年

96.5兆円



■ 米国

■ EU5

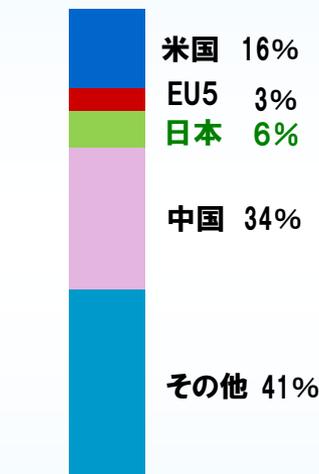
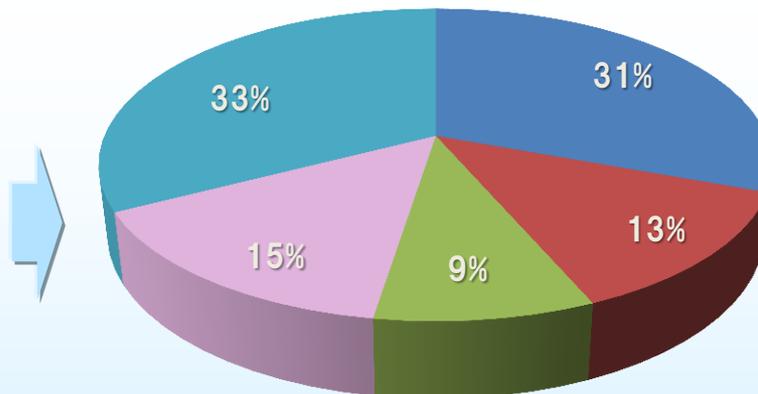
■ 日本

■ 中国

■ その他

2017年予想

117~120兆円



(出所) IMS Market Prognosis, September 2013

(市場規模は1ドル=100円で換算)

基本戦略テーマ

One for All, All for One

創造的成長の実現

- 市場伸長に過度に依存しない成長体質の構築
- 海外市場の本格的な取り込み
- グループ資源の有効活用による新製品開発加速と製品力の更なる強化
- 製品ラインアップの拡充

筋肉質な企業体質への変貌

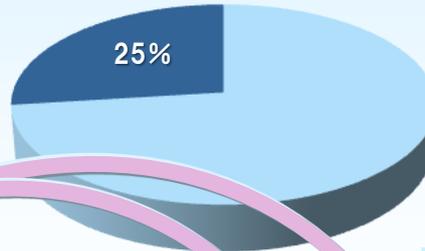
- 挑戦的風土の確立と人材育成
- 開発及び生産プロセスの更なる改良
- 企業価値最大化を図る組織改革
- 総コスト削減による利益の最大

当社のグローバル展開の現状

【北米・南米・欧州・中東エリア】

FREUND-VECTOR社

連結海外売上高
(2014/2期)



【アジアエリア】

フロイント産業

「経済産業省認定GNT企業」

医薬品市場国別ランク

(出所) IMS Health

	2003年	2011年	2016年予想
1	米国	米国	米国
2	日本	日本	中国
3	ドイツ	中国	日本
4	フランス	ドイツ	ブラジル
5	イタリア	フランス	ドイツ
6	英国	ブラジル	フランス
7	スペイン	イタリア	イタリア
8	カナダ	スペイン	インド
9	中国	カナダ	ロシア
10	ブラジル	英国	カナダ

スマイリーエリア



● : 常駐サービスを配置

★ : デモセンター

グループ資源

【医薬品関連機械のビジネスモデル】

FREUND-VECTOR社

グローバルに情報を共有化することでいち早く市場ニーズをつかむ。

原薬

粉碎・分級

混合
練合

造粒

乾燥・整粒

打錠

コーティング

錠剤

印刷

包装

フロイント・ターボ

造粒・コーティング技術とフロイント・ターボ社の粉碎・分級技術は、粉体加工技術として、相互補完の関係。両技術の融合で、幅広い分野に粉体加工技術を提供。

フロイント産業

機械事業部と化成品事業部の情報共有化でユーザーニーズにマッチした製品を供給

造粒装置

+

賦形剤

コーティング装置

+

コーティング液

印刷装置

+

インク

新製品開発のスピードアップ

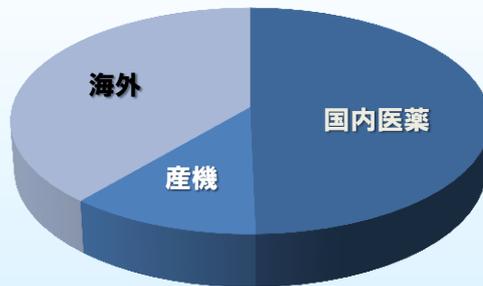
事業部別重点戦略①

機械部門

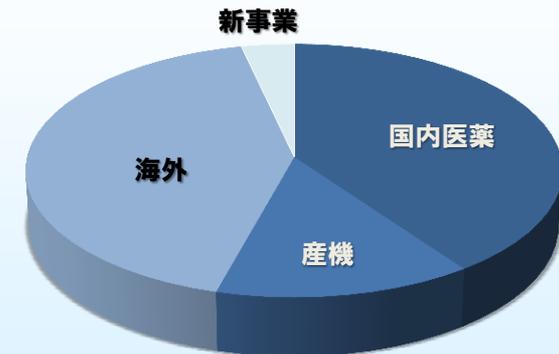
…グローバル展開加速と製品開発強化

- 国内 :競争力強化
- アジア :中国、インドに戦力集中
- 米州 :新規顧客開拓と新製品販売に注力
- 欧州 :スマイルエリアでの販売強化
- 産機 :健康/食品向け強化と電池業界への本格参入
- 開発 :市場ニーズにマッチした新製品開発とスピードアップ
- 生産 :フロント・ベクターの工場増設と海外で部品生産検討

14/2期
110億円



17/2期計画
142億円



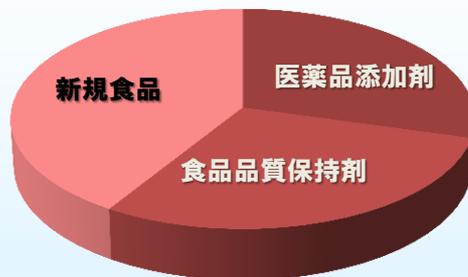
事業部別重点戦略②

化成品部門

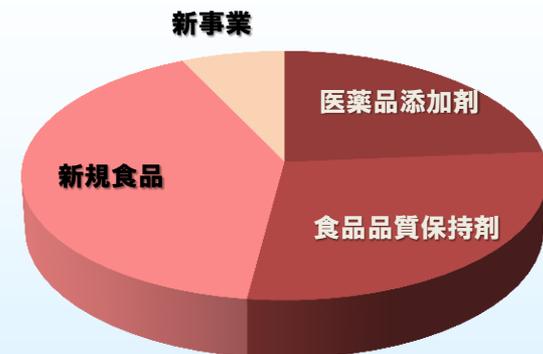
・・・新製品拡充と既存品の競争力強化

- 医薬品添加剤 : 先発・GE薬の取り込み
- 栄養補助食品 : 既存品の受注強化と新規事業開発
- 食品品質保持剤 : 製品ラインアップの拡充と営業強化
- 開発 : スピードアップと最低年間で1品目上市
- 生産 : 生産拠点統合やライン共有化でコスト削減

14/2期
66億円



17/2期計画
88億円



進捗状況

上期の進捗状況

- **インドユーザー向け試験機納入スタート**
- **ブラジルで新規顧客開拓**
- **ミラノのデモセンター・ラボ建設(2014年11月稼働開始)**
- **FREUND-VECTOR社の工場増設着手**
- **連続造粒装置「Granuformer®」concept modelを開発**
- **錠剤印刷装置の新モデルを上市**
- **食品品質保持剤の製造拠点の浜松集約完了**

下期の重点施策

- **インド市場対応強化**
- **スマイリーエリア・ブラジルでの受注強化**

新製品群①

爆発放散口のない流動層造粒乾燥機 「フローコーター(12bar)」



- 従来、作業員の安全性確保と環境汚染防止のために、消防法で爆発放散口・放散ダクトの設置を義務付け。
- 当社は、耐圧性を高めることで、万が一の爆発時も容器内に爆発圧力の封じ込めに成功。
- 日本初の爆発放散口のない装置を大手医薬品会社に納入致しました。



「スパイラルドライヤー」

連続造粒装置「Granuformer®」

- 従来のバッチ式造粒装置に替わる連続式造粒装置を日本で初めて開発。
- 特許申請中の「スパイラルドライヤー」が連続造粒を可能とした。
- 医薬品製造時の品質や生産性向上に貢献します。

新製品群②

錠剤印刷装置「TABREX®」

- ・薬剤調剤時のミス軽減や患者様の誤飲防止に貢献。
- ・素錠やフィルム錠、糖衣錠などの多種多様な錠剤に対応し、両面印刷、割線対応の並行印刷や非割線面に限定した印刷も可能。新開発のインクで経年変化による退色や印刷移りを解消。



錠剤への印字例



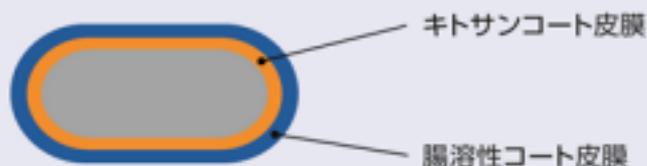
粉砕機「Vターボ®」

- ・高速回転する粉砕ディスクに発生する気流、及びライナー間の衝撃力で原料を粉砕。内蔵した分級ローターの回転数変更により希望粒度の製品を得ることが可能。
- ・空気を同伴しながら循環して粉砕するため、粉砕時の発熱を抑え、食品等の熱に敏感な原料の粉砕にも対応。

大腸DDS製剤開発

DDS:ドラッグデリバリーシステム

大腸DDS製剤の基本構成(錠剤)



- DDS製剤は、薬剤を特定の疾患部位に直接届け、薬効の向上や投与量の抑制、副作用軽減が図れます。
- 開発したDDS製剤は、薬剤を大腸部位に届けられるため、大腸疾患治療薬や腸内フローラ改善用のサプリメント、その他の大腸を標的とする新たな製剤への応用が期待されています。

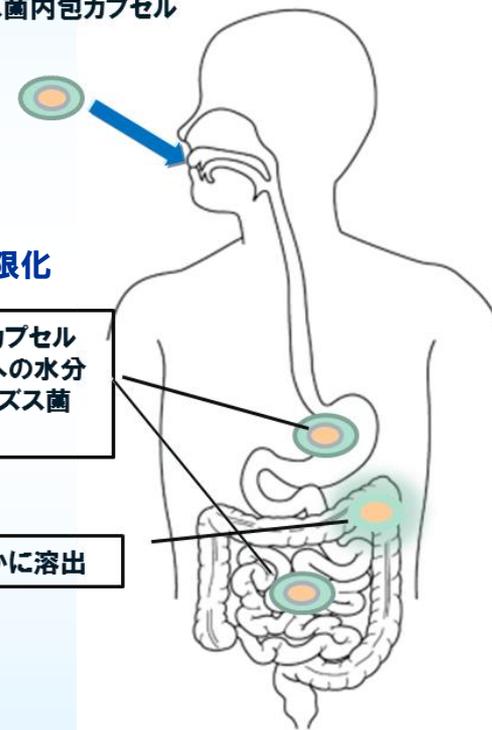
開発例) ビフィズス菌大腸デリバリーカプセル

ビフィズス菌内包カプセル

サプリメント効果の最大限化

ビフィズス菌は胃や小腸でカプセルから溶出せず、カプセル内への水分侵入も抑えられるのでビフィズス菌の失活を抑える

ビフィズス菌は大腸で速やかに溶出



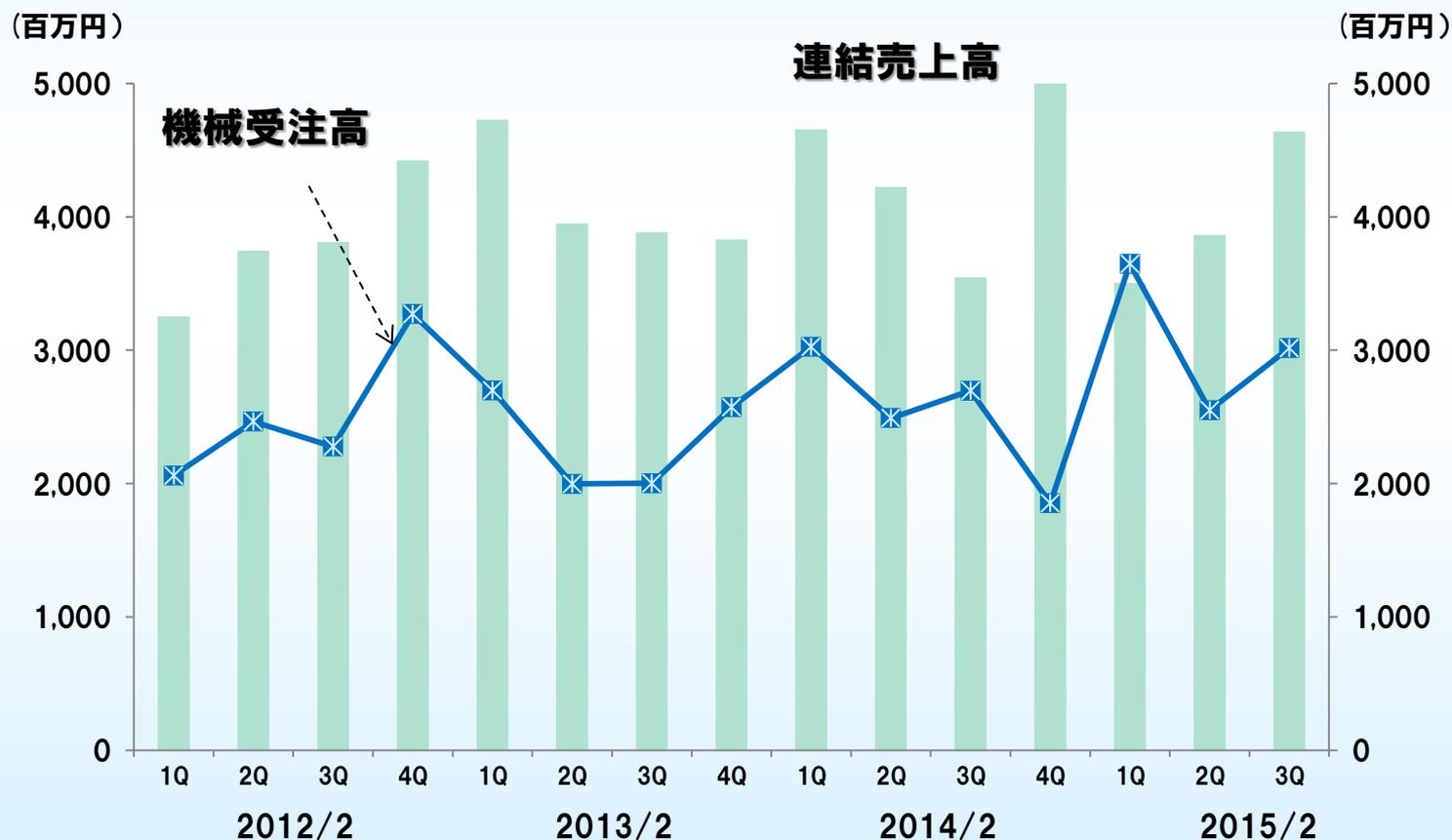
(特開2012-149032)

III.2015年2月期業績予想及び株主還元

当社の収益構造

顧客の検収期により四半期収益はブレやすい

(四半期売上高と機械受注高推移)



2015年2月期第3四半期決算概況

- 1-3Q累計業績は、ほぼ修正見通し線に着地

(単位:百万円)

	2014/2期		2015/2期		対前年同期比(%)	
	1-3Q	3Q	1-3Q	3Q	1-3Q	3Q
売上高	12,427	3,546	12,011	4,640	△3.3	+30.9
機械部門	7,667	1,934	7,149	3,106	△6.8	+60.6
化成品部門	4,759	1,611	4,862	1,534	+2.2	△4.8
営業利益	1,000	157	585	484	△41.5	+208.3
機械部門*	925	167	612	487	△33.8	+191.6
化成品部門*	324	67	322	129	△0.6	+92.5
経常利益	1,046	173	667	526	△36.2	+204.0
純利益	539	69	336	300	△37.6	+334.8
一株純利益	62.54	7.93	39.04	34.85	-	-

*セグメント利益で全社費用調整前

2015年2月期予想

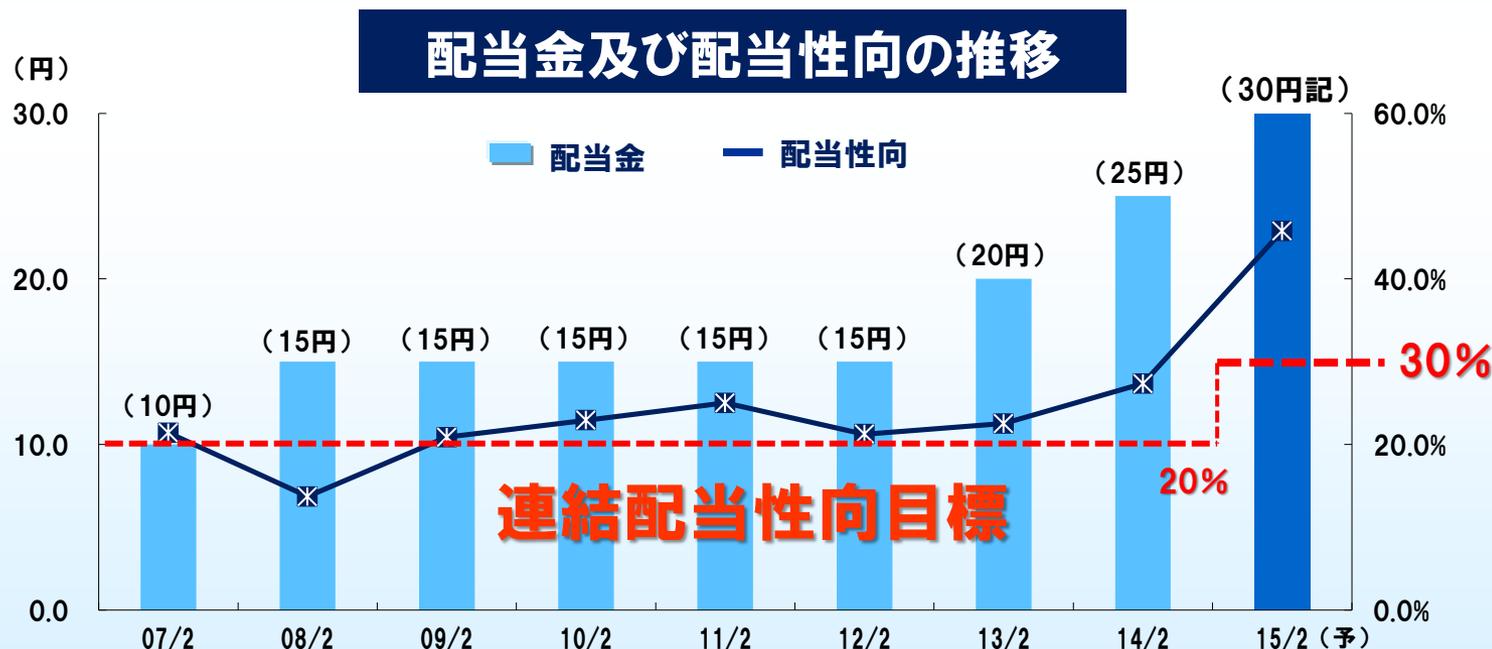
- 今期売上高は下期に偏重。通期売上高は産機回復の遅れと期初予想に比べ機械部門の検収時期の期ずれもあり、ほぼ横ばい圏見通しに修正。
- 新規顧客開拓ための先行費用もかさみ、営業利益も減益に転じる見込み。

(単位:百万円)

	2014年2月期			2015年2月期 (10/3修正)				
	上期	下期	実績	上期	下期予想	通期予想	伸び率 (%)	期初予想
売上高	8,881	8,735	17,616	7,371	10,129	17,500	△0.7	18,000
営業利益	843	443	1,286	101	899	1,000	△22.2	1,340
経常利益	873	468	1,341	141	909	1,050	△21.7	1,420
純利益	470	317	787	36	529	565	△28.2	800
一株純利益	54.61	36.76	91.37	4.19	61.35	65.53	△28.3	92.78

株主還元 ①配当方針

- ・利益配当は、業績に応じた成果配分を行うことを基本としています。経営基盤の強化や将来の事業拡大を見据えた内部留保の充実が進んだことで、年間の**連結配当性向目標**を従来の**20%から30%に引き上げ**。
- ・2015年2月期末の配当金は50周年の**記念配当5円**を含め**30円を予定**。



株主還元 ②株主優待

当期から株主優待制度を導入

中間期末株主様に
「オリジナル・クオカード」を謹呈しています。



【2015年2月期の優待品】

【優待内容】

所有株式	贈呈内容
100株以上	クオカード 1,000円分

(毎年8月31日現在、1年以上の当社株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上を保有している株主様が対象)

(参考資料)

プロフィール

- **社名** : フロイント産業株式会社

 - **設立** : 1964年4月

 - **代表者** : 代表取締役社長 伏島 巖

 - **所在地** : 東京都新宿区大久保 1丁目3番21号

 - **資本金** : 10億3,560万円 (2014年2月末現在)

 - **売上高** : 176.1億円 (2014年2月期:連結)

 - **従業員数** : 社員数 370名 (2014年2月末現在:連結)

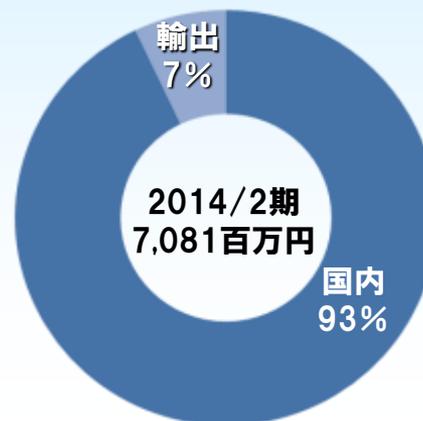
 - **事業内容** : 機械事業・・・造粒・コーティング装置等の製造販売
化成品事業・・・医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売

 - **関連会社** : FREUND-VECTOR CORPORATION、FREUND PHARMATEC Ltd.、
フロイント・ターボ株式会社
-

単体の動向

- 医薬向けが牽引、前期売上高は史上最高を更新
- 新興国向けモデルを開発

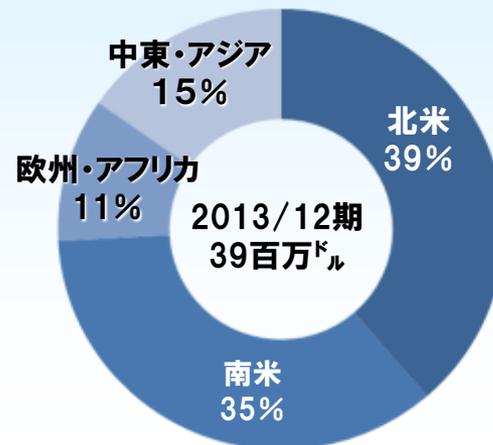
地域別売上高



FREUND-VECTOR社の動向

- 南米・北米向けが牽引し、収益堅調
- USDベースでは10期連続の増収

地域別売上高



売上高推移



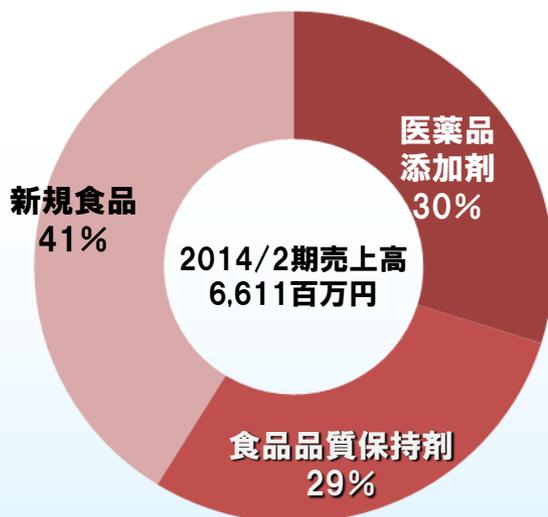
受注推移



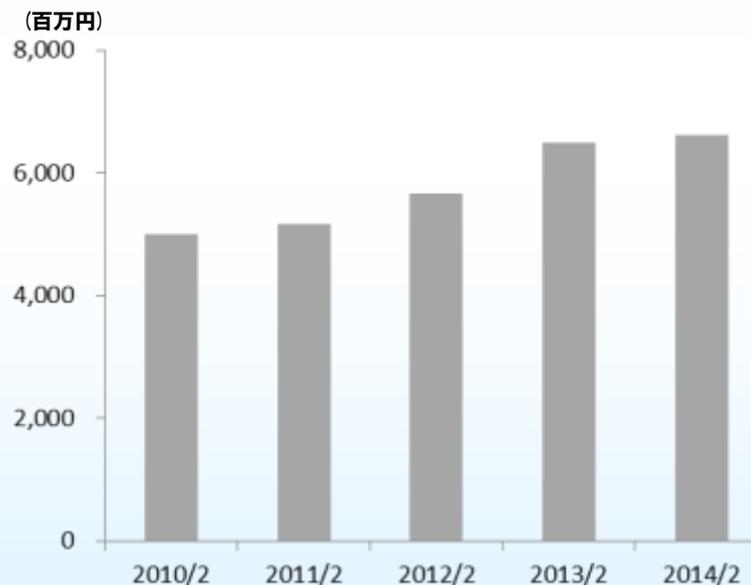
化成品部門の動向

- FREUND PHARMATEC社は、プレマーケティングへ
- 医薬品添加剤は、ジェネリックメーカー向け販売好調
- 食品品質保持剤は新製品上市し、栄養補助食品は好調持続

化成品事業の売上構成



化成品部門売上高推移



グループカ融合で加速する製品開発

- 微小粒DDS製剤技術の早期実用化
- FREUND-VECTOR社とのシナジー最大化
- フロイント・ターボ社技術との相互補完効果

FREUND PHARMATEC

&

FREUND-VECTOR

&

フロイント・ターボ

比表面積が小さく、膜厚制御が容易な球形顆粒と独自開発のシームレスミニカプセル技術を応用し、DDS製剤技術を欧州で開発中。2011年7月にGMP承認。

グローバルに情報を共有化することでいち早く市場ニーズをつかむ。当社の開発力に米子会社の設計力と製造力が融合することで新製品の開発スピードが加速。

造粒・コーティング技術と旧ターボ社の粉砕・分級技術は、粉体加工技術として、相互補完の関係。両技術の融合で、幅広い分野に粉体加工技術を提供。

(注)DDS:Drug Delivery system

製品開発の歴史

	機械	化成品
1964	自動フィルムコーティング装置	フィルムコーティング液
1965		HPC、HPS
1966		パーフィラー-101、ラブリワックス-101
1967		CMEC
1969	流動層造粒コーティング装置〈フローコーター〉	
1970	乾式造粒装置〈ローラーコンパクター〉	
1971	自動糖衣・フィルムコーティング装置〈ハイコーター〉	
1972		イチゴ用食品品質保持剤〈アンチモールド-101〉
1975	遠心流動型コーティング造粒装置〈CFグラニューレーター〉	医薬品添加剤〈ダイラクトース〉
1978		食品品質保持剤〈アンチモールド-102〉
1981	複合型流動層造粒コーティング装置〈スパイラフロー〉	医薬品添加剤〈ノンパレル-101〉
1982		医薬品添加剤〈ノンパレル-103〉
1983	〈水分活性測定器〉	
1987		多機能型食品品質保持剤〈ネガモールド〉
1988	水系コーティング装置〈アクアコーター〉	栄養補助食品〈活性化イチヨウ葉エキス〉
1990	製剤工程自動制御システム〈ファーマトロニクス〉	
1991	シームレス・ミニカプセル装置〈スフェレックス〉	医薬品添加剤〈ノンパレル-105〉
1994	粒子形状測定装置〈グラニュトロニクス〉	
2000	遠心転動造粒コーティング装置〈グラニュレックス〉	
2001	ロータリー式造粒乾燥装置〈テクトランサー〉	
2002		エタノール蒸散持続型食品品質保持剤〈アンチモールド・テンダー〉
2003		食品用コーティング基剤〈水性シエラック液〉、食品添加剤〈パーフィラー-102〉
2005	ツインスクリーュー式〈ローラーコンパクター〉 アンチモールド自動検知器〈アンチモールド デテクター〉	
2006	食品・健康食品用全自動コーティング装置〈ハイコーターFPC〉	医薬品添加剤〈ノンパレル108〉、医薬品添加剤〈ポリシングワックス-105〉 食品添加剤〈ポリシングワックス-104〉
2008	キトサンコーティング技術開発 自動錠剤コーティング装置〈ハイコーターFZ〉	
2009	流動層造粒コーティング装置〈フローコーターUniversal〉 粉粒体輸送用コンテナ洗浄装置〈コンテナ洗浄装置〉	
2010	高速攪拌造粒装置〈グラニューマイスト〉 湿式/乾式造粒機〈ミルマイスト〉	医薬品添加剤〈グラニュートル〉 食品添加剤〈フーズガード〉
2012		食品品質保持剤〈ネガモールドナチュラル、ネガモールドライト〉
2013		食品添加剤〈マルチトルグラニュー〉、〈イノマルトグラニュー〉 直打用乳糖〈ダイラクトースF(ファイン)〉
2014	錠剤印刷装置〈TABREX〉	

〈お問い合わせ先〉
フロイント産業株式会社
管理本部 広報・IR室

TEL:03-5292-0215

FAX:03-5292-0290

E-Mail:ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <http://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。